



道しるべ



令和8年6月3日(水)

文章責任者：進路指導部

進路希望調査の質問から②

進路だより第5号に引き続き、第一回進路希望調査で出た質問をベースに、進路にまつわる情報を項目ごとにお伝えします。

1 勉強の進め方について教えてほしい

自分に合ったやり方を見つけていくことが一番ですが、まずは定期考査に向けて普段の授業の予習復習を基本にしていくとよいです。全教科の学習は系統的・連続的に組まれているので、3年生の問題が分からない場合、その内容と関連の深い1・2年生の内容を、教科書やワーク、授業ノートなどを振り返っておさらいしてみるのもおすすめです。日々の小テストや授業内の評価物も手を抜かず、基本的な力を身に付けていきましょう。ワーク等、各教科の先生が必要だと判断した副教材を効果的に活用するとよいです。例えば国語の場合、ワークの問題を解いて丸付けして終わり、ではなく、間違えた問題について、なぜ間違えているか説明できるか確認し、分からなければ調べたり、友人や先生に聞いたりして、深い理解に繋げていきましょう。苦手なところがどこか理解が深まってきたら、夏休みなど時間があるときに、重点的に復習を行うとよいです。

一方で、発展的な力を身に付けていくのも重要です。志望校が決まったら、過去問を解き、問題の傾向をつかむと対策が取りやすいでしょう。例えば、作文の問題が出ないのに、夏休みずっと作文の練習ばかりしていた……なんてことにならないように、出題傾向を探るのも重要です。ちなみに、都立入試の過去問については、都の教育委員会のHPに載っています。(自校作成校については各校のHP) 私立高校もHPに載せていたり、説明会で配布されたりすることもあります。国語は著作権の関係でHPに掲載されていない場合もあるので、可能なら過去問の本を購入するのもよいでしょう。

2 評価・評定の上げ方を教えてほしい

進路だより第4号を参考に、評価・評定の付き方を理解しましょう。また、「学習の手引き」を読んで、各教科の評価材料を理解し、自分の評価が現在どのくらいなのか想像してみるのも大切です。定期考査でも、評価の観点ごとに何割取れるかが重要になります。2年生3学期の成績質問タイムに教科の先生に質問していれば、そこで受けた先生からのアドバイスを生かして授業に

取り組むといいでしょう。分からない場合は、休み時間や放課後等に、各教科の先生に質問に行くといいです。

3 推薦について教えてほしい

(1) 一般推薦について

進路だより第3号「推薦基準について」を参考にしてください。授業態度や生活習慣、委員会・係活動や行事への取り組み状況等、自分の行動を見直してみましよう。また、高等学校側が求める基準についても、早めに確認をしておきましよう。私立高校の場合は、評定点（3科〇〇以上かつ5科〇〇以上等）や、出欠席の日数等の基準があります。基準は二学期頃発表になることが多いですが、早い学校では既に発表されています。学校見学の際に、個別相談で具体的に聞いてみるといいでしょう。三中の基準をクリアしていても、高等学校側の基準を満たしていないと、推薦入試を受けることができません。英検などの加点の有無についても早めに調べ、対策しておくといいです。

三中で行われる漢検の申し込みは先日終わってしまいましたが、英検の申し込みは7月14日（火）と15日（水）にあります。もちろん、三中以外の会場を調べて受験することも可能です。インターネットを活用したC B Tタイプの検定もあるので、進路だより第1号を参考に、検定の取得にも挑戦してみるといいです。

(2) 部活動推薦等の特別推薦について

スポーツや文化系の推薦については、特殊な動きになることがあるので、各校の詳細を早めに調べておきましよう。部活動推薦であれば、まずは顧問の先生に推薦入試を希望している旨を伝えてください。また、外部の習い事やクラブチームでは、その指導者の方から情報を貰える場合もあります。スポーツもしくは文化系の推薦入試を考えていることを指導者の方に伝えておきましよう。その他、音楽系の学科を受験する場合は、音楽科の池田先生に相談をしてください。

また、高校側も、部活動体験や練習会への参加を必須としている場合も多いので、必ず受験予定の高校の説明会に行き、情報を集めておく必要があります。

都立入試の場合、「文化・スポーツ特別推薦」と「一般推薦」の両方を受検することが可能です。対策の内容も変わってくるので、どちらか一方のみの受検にするのか、両方の受検にするのかも少しずつイメージしていけるといいでしょう。

進路だより第3号でお伝えした通り、推薦については校内推薦委員会で検討し、学校長による決定をもって正式なものとなるので、「私は推薦してもらえますか？」と聞かれても現段階では答えることはできません。まずは、三中の推薦基準をよく読み、それを意識した生活を心がけてみましよう。また、高校の推薦基準も早めに調べておきましよう。推薦に限らず、不安なことがあれば、担任の先生をはじめ、学年の先生に相談してくださいね。

裏面あり→

奨学金のお知らせ

「東京都育英資金奨学生」予約募集について情報が届きました。進路のクラスルームに、申込の対象や借りられる金額等を配信したので、確認をお願いします。ご希望の場合は、担任を通して奨学金担当・岩田までご連絡ください。学校の締切日は**8月27日（木）**としますが、住民票や所得証明書等、複数の書類が必要となりますので、夏の三者面談までにお伝えいただくと幸いです。

学校からお知らせのない一般企業の奨学金にも、中学校からの書類が必要となる場合もあります。よくお調べいただき、必要な場合は担任にお声かけください。

東京都社会福祉協議会の「受験生のあなたへ 金銭的な理由で塾や受験を諦めてほしくない！」というリーフレットも先週配布しました。塾費用や受験料の貸付について、三鷹市の窓口が記載されています。内容をご確認ください。

進路説明会のお知らせ

今年度第1回進路説明会について、詳細が決定しましたのでお知らせします。

保護者向けの説明会は 6月26日（金）14時30分から1時間程度実施いたします。その時間、生徒のみなさんは、教室で修学旅行に向けて準備を進める予定です。

生徒向けの進路説明会は、保護者向けの説明会に先駆けて、6月23日（火）の1時間目

（9:50～）に実施する予定です。同じ資料を使って説明を行います。保護者の方で、6月23日の方がご都合がよい場合は、前日までにお電話等でご連絡いただければ、生徒向けの説明会にご参加いただいても構いません。

今回の説明会では、進路の年間スケジュールや、入試の仕組みについての概略をお伝えします。7月6日（月）に第2回進路希望調査の締切があるので、進路説明会の内容を受けて、保護者の方と進路について改めて話してみてください。進路説明会に保護者の方が欠席される場合は、お子様を通じて資料をお渡しします。

紫陽花を探せ！

我が家の定番で、この時期になると毎年、「紫陽花を探す」遊びをしています。特殊な読み方（熟字訓）になりますが、読めますか？

ご近所のお庭だけでなく、園庭や線路沿いなど、意外とあちこちに紫陽花の花は咲いているもので、「あじさいみっけ！！」という我が子に、「負けた〜」と大袈裟に返しては、私も「あんなところに紫陽花（アジサイ）が咲いてるんだな」と発見することが多いです。

秋には、金木犀（キンモクセイ）を探す遊びもします。香りも有名ですが、星型の花がとても可愛らしく、「お星様の花だよー」と言っでは探しています。この遊びをすると、通勤途中などの一人の時間でも、自然と金木犀に目を向けるようになります。毎日通るコンビニの駐車場にあった木が金木犀だと分かり、花が咲くのを楽しみに待つようになりました。

知らないままだと、気付かないことはたくさんあります。それでも、困らなければ問題ないのかもしれませんが。でも、知ることで、見えるものは増えていきます。

教養とは、そのためにあるのではないかと、ふと思うのです。

分かることが増えると、疑問に思うことも増えます。そして、「もっと知りたい」という気持ちが生まれ、さらに深く物事を追究できるようになる。知ることや学ぶことは、本来とても楽しいことなのではないでしょうか。

一学期期末考査に向けて、勉強に追われている人もいるかもしれません。「テストのため」「受験のため」と思うと、勉強が苦しく感じることもあります。

でも、今みなさんが向き合っている学習は、きっと自分の世界を広げてくれるものでもあります。

少しでも好奇心を持って、身の回りのことや学習に向き合ってみてください。これまでとは違ったものの見方ができるかもしれませんよ。応援しています。（進路指導主任）